

花巻の仕事

Made in HANAMAKI



ネジ保持機「オールマイティ」

ネジ締め作業の効率化を実現する真空吸着方式のネジ保持機。吸着率100%、かつ安定した保持状態が特徴の高精度・高品質な製品です。自動車・家電・航空宇宙・ロボット関係など、ネジ締めを必要とする全国のあらゆる業種の製造現場で使われています。

会社名 有限会社 サワ

所在地 花巻市一日市2-5(☎0198-21-5225)

会社概要 平成10年創業。電動ドライバー用のネジ・ボルト・ナット保持装置やネジ供給装置などの開発と販売を手掛ける。最高で唯一の製品を目指し、顧客ニーズに

「料金未払いがある。放っておくと裁判に」こんな架空請求に注意

■どんなトラブルがあるの？

○「利用した覚えがない請求が届いた」という、架空請求に関する相談が多く寄せられています

○特に「全国紛争処理支援センター」や「仲裁相談センター」というような公的機関を連想させる名称を用いたものが増えていきます

○このようなケースでは、「裁判所に訴状が提出された」などと脅した上で、「当センターが仲裁す

る」と語り、中立的な立場でトラブル解決の支援をするように見せかけます

■注意することは？

○相手に連絡すると、さまざまな名目で金銭を要求されてしまいます。利用した覚えがない場合は、連絡や支払いは絶対せず、無視しましょう

○はがきや封書のほか、電子メールによる架空請求も増えていきますので、十分注意しましょう

■困ったときは？

○市民生活総合相談センター(☎24-2111 内線259)へ

市民生活コーナー

市民の声を行政に伝える懸け橋

◆行政相談委員としての功績により総務大臣表彰を受賞されましたね

平成15年から行政相談委員として活動しています。相談委員としての年数はそれほど長いのですが、夜間の巡回相談所を開設したり、広報活動に力を入れたりしてきました。

◆行政相談委員になったきっかけは？

知人から誘われたのがきっかけです。そのときは行政相談委員がどのようなことをするのか詳しく知りませんでした。

◆行政相談委員とはどのような役割なのでしょう？

市民と行政をつなぐ懸け橋だと思っています。市民の皆さんの相談に助言をしたり、行政にその内容を伝えたりしています。相談内容は、道路に関することや福祉に関する事など多岐にわたります。

◆心掛けていることは？

相手の立場に立って、話をしっかり聴くことを心掛けています。また、相談を受けたら解決策を示せるように努力しています。

◆今後の目標は？

行政相談委員の活動をもっと知ってもらいたいと思っています。そして気軽に相談できる窓口として、より多くの声を行政に伝えていきたいです。

イー・トゥーブ人
PERSON'S 88



くほた ちゅうじ さん
久保田 忠司 さん
(大迫町亀ヶ森 76歳)

The world and HANAMAKI 世界と花巻 vol.10

中国の年越し〜「年」のおかげで一家だんらん

新年おめでとうございます。正月三が日が過ぎ、日本では、年越しのにぎやかな雰囲気が落ち着いているところですが、中国ではいつもこの時期から、新年を祝う本格シーズンに入ります。ことしは1月31日が旧正月(春節)です。日本のお正月とは違う、それでいてつながりのある中国の年越しを紹介します。

中国には、「年」という恐ろしい獣がいたという伝説があります。この年獣は、大みそかになると人を食べるために現れ、日が昇るとすみかに戻ります。このため、年獣を恐れた人々は、大みそかの夜は外出を避けて家にこもり、人生で最後かもしれない盛りだくさんの夕食「年夜飯」を食べ、家族とだんらんしながら夜明けを待ちます。

「年獣」…呉研究員のイメージをガットマンの推進員が図にしたもの



大連市協力交流研修員
(左) 吳 勇武
花巻市国際都市推進員
(右) ジェシー・ガットマン

また、年獣が赤い物や明るい物、大きな音を嫌うと信じ、赤い服を着て、赤を基調とした「紅灯籠」「対聯」「門神」(右写真)などを家に掲げ、さらに太鼓をたたきながら獅子踊りをしたり、竹を焼いて爆発させたりして年獣を追い払おうとします。



この竹を焼いて爆発させる風習は、爆竹の由来となっています。また、年獣との戦いの末、めでたく夜が明けると、新年のあいさつ「拜年」をしますが、この時、目上の人から目下の人に贈る「压岁錢」というお金が「お年玉」、友人に贈った祝いの言葉が「年賀状」の始まりです。

年獣との戦いに終始する中国の年越し行事ですが、一家だんらんの年越しができるのは年獣のおかげかもしれません。

いきいき仲間たち



花巻を訪れる観光客を市内の観光施設などで温かくもてなしている「はなまきコンシェル」。20代から70代までの女性9人のメンバーで活動しています。

ゴールデンウィークやお盆期間には、新花巻駅でお茶のサービスや、花巻弁で宮沢賢治作品の朗読、紙芝居の読み聞かせを行うほか、ホテルなどで昔話を話して聞かせることもあります。また、観光客からの質問に答えられるよう、月に1回研修会を行い、花巻の歴史や先人、名物などにについて勉強しています。



観光客の皆さんに紙芝居を花巻弁で読み聞かせします。素朴な地元言葉が好評です

「観光客の方からの『楽しかったからまた来るよ』などという言葉はうれしいですね。一緒に活動する仲間を増やしたいと思っています」と話すリーダーの高橋孝子さん。おもてなしの心を大切にして、観光客を迎えています。

おもてなしの心を大切にする

はなまきコンシェル

【問い合わせ】
リーダー 高橋孝子さん(事務局☎29-4522)